

令和3年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立多治見工業高等学校

学校番号

45

I 自己評価

1 学校教育目標	(1) 正しく、強く、明るくの校訓を体し、豊かな人間性と創造性に富む実践力のある人材を育成する。 (2) 自立力、共生力、自己表現力をバランス良く身に付けた生徒を育成する。
2 現状の分析	○ものづくり教育や資格取得指導、進路指導などを含め、ほとんどの生徒は本校に入学して良かったと思っている。 ○人間としての基本的なモラルやマナーを身に付けさせることやいじめや差別を許さず厳しく対応しているなど、生徒指導に対して生徒は適切な指導であると評価している。 ○悩みや相談事に親切に対応できるや専門的知識が豊富であり、授業内容について信頼できるなど、職員に対し評価は得られている。 ▲家庭で学校に関する話をしていない生徒の割合が多く見られ、コロナ禍において育友会総会や進路行事等の中止の影響も考えられる。 ▲授業の教え方や説明について、今後もICTを活用した授業展開などによってわかりやすい授業、及び生徒一人一人の能力に応じた指導について研究を進める。 ▲施設・設備はなど学習環境の面では、老朽化などに対する対応が必要である。
3 学校の抱える課題	・地域、企業との連携。 ・ICTを活用した分かる授業の実践。 ・生徒の多様性に対応した教育相談。 ・施設設備の老朽化。
4 今年度の具体的な重点目標	・変化していく時代に即した工業人の育成 ・生徒の興味・関心を喚起する「わかる授業づくり」を推進。 ・生徒に軸足を置いた生徒指導を展開。 ・自己の在り方・生き方を考え、主体的に進路を選択できる能力や態度を育成。 ・地域に開かれた信頼される学校づくりを推進するとともに活力ある生徒の姿の発信。

年 度 目 標			年 度 末 (途中) 評 価			
5 評価項目 領域・分野	6 重点目標の達成に必要な 具体的取組・方策	7 達成度の判断・判定基準 あるいは評価指標	8 取組状況・実践内容 評価項目の達成状況等	9 評価 A・B・C・D	10 成果と課題	11 総合 評価
教育課程 ・学習指導	①ICTを活かした授業改善	①学校評価アンケート	① ICT研修の実施 (web授業等)	B	○ICTを授業で有効活用 できる職員が増えた。 ▲回線が不足している。	A B C D
	②公開授業、職員研修の実施	②生徒授業評価アンケート	②授業公開週間の実施	B		
生徒指導 (教育相談)	①身だしなみ・遅刻・交通安全指導	①各種統計資料	① 身だしなみ指導と遅刻ゼロ指導	B	○生徒に関する情報共有シ ステムを構築できた。 ▲多様な生徒・保護者が増 え、対応が難しかった。	
	②迷惑・生活実態、教育相談週間の実施	②各種アンケート	②会議で生徒情報を共有	A		
進路指導	①進路ガイダンス機能の充実	①生徒アンケート	① 外部講師の協力を得て実施	B	▲コロナ禍でガイダンス等 の開催ができなかった。	
	②地域、企業との連携	②インターンシップ等の参加率	②インターンシップや地元企業説明会	B		
保護者 ・地域連携	①校内行事への参加の呼びかけ	①参加者アンケート	① 多工祭、課題研究発表会の実施	B	○参加者を限定したり、I CTの活用を進めた。	

II 学校関係者評価

実施年月日：令和4年2月8日

<ul style="list-style-type: none"> ・各科の実習について、生徒の積極的な活動に高い評価を得た。 ・対面授業やコミュニケーション力を大切にしながら、ICTを有効活用できる研究と実践が必要である。 ・専門的な技術を身につけ実践力のある地域社会人の育成を目指し、専門高校として地域に根差した活動も積極的に行ってほしい。
--

12 来年度に向けての改善方策案

<ul style="list-style-type: none"> ・新学習指導要領の施行に向けて新しい評価方法の実施及び充実を図る。 ・本校の魅力を地域や中学生に解りやすく発信する。 ・生徒タブレットを含めICTのさらなる活用(授業改善)について研究を行う。 ・生徒、保護者が多様化する中で、教育相談の充実を図る。 ・保護者、地元企業との連携を深める。
